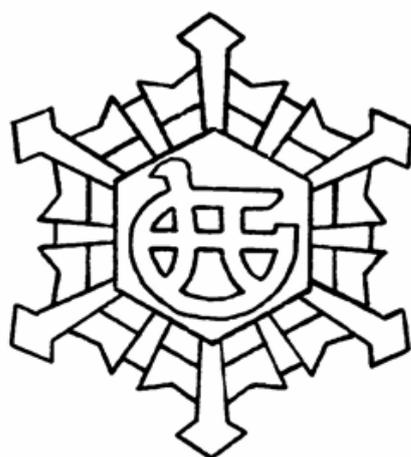


災 害 の 概 況

(平成22年)



鳥 取 県 西 部 広 域 行 政 管 理 組 合
消 防 局

目 次

(ページ数)

災害概況について	1
I 火災概況	3
1 火災状況	3
2 出火原因	3
3 死者、負傷者	4
別図 I - 1 火災件数の推移	4
別図 I - 2 火災種別ごとの件数と構成比率	4
別図 I - 3 月別の火災件数	5
別図 I - 4 時間帯別建物火災発生件数及び建物火災での死者数	5
別図 I - 5 市町村別火災件数の構成比率	6
別図 I - 6 経過別死者発生状況	6
別図 I - 7 経過別負傷者発生状況	6
別表 I - 1 平成 22 年の火災の概況	7
別表 I - 2 月別火災発生状況	8
別表 I - 3 市町村別火災状況	9
別表 I - 4 出火原因別火災発生概況	10
別表 I - 5 過去 5 年間の市町村別火災件数	11
別表 I - 6 過去 10 年間の火災発生状況	12
II 救急概況	13
1 救急出動件数、救急搬送状況	13
2 市町村別救急活動状況	13
3 傷病程度別搬送状況	13
4 年齢別搬送状況	13
5 署所別救急活動状況	13
6 月別救急活動状況	13
7 現場到着所要時間、収容所要時間	13
8 応急手当実施状況	13
9 高度救命処置状況	13
10 救急講習件数の推移	13
別図 II - 1 事故種別救急出動状況	14
別図 II - 2 事故種別救急搬送状況	14
別図 II - 3 過去 5 年間の救急推移	15
別図 II - 4 市町村別救急活動状況	15
別図 II - 5 傷病程度別搬送状況	16
別図 II - 6 年齢別搬送状況	16
別図 II - 7 署所別救急活動状況	17
別図 II - 8 月別救急活動状況	17

別図Ⅱ－ 9	現場到着所要時間	18
別図Ⅱ－10	収容所要時間	18
別図Ⅱ－11	応急手当実施状況	19
別図Ⅱ－12	高度救命処置状況	19
別図Ⅱ－13	医師引き継ぎ時の状況	19
別図Ⅱ－14	過去5年間の救急講習件数推移	20
別図Ⅱ－15	過去5年間の救急講習人員推移	20
別図Ⅱ－16	応急手当指導員・普及員の養成	20
別表Ⅱ－ 1	過去5年間の市町村別救急件数	21
Ⅲ	救助概況	22
1	事故種別救助出動状況	22
2	事故種別救助活動状況	22
3	事故種別救助人員状況	22
4	管轄別救助活動状況	22
5	市町村別救助活動状況	22
6	月別救助活動状況	22
別図Ⅲ－ 1	事故種別救助出動状況	23
別図Ⅲ－ 2	事故種別救助活動状況	23
別図Ⅲ－ 3	事故種別救助人員状況	24
別図Ⅲ－ 4	管轄別救助活動状況	24
別図Ⅲ－ 5	市町村別救助活動状況	25
別図Ⅲ－ 6	月別救助活動状況	25
Ⅳ	119番着信概況	26
1	概況	26
2	月別の着信状況	26
3	電話種別による通報状況	26
4	携帯電話からの着信状況	26
5	時間帯別119番通報の着信状況	27
別表Ⅳ－ 1	119番着信件数の推移	27
別表Ⅳ－ 2	月別119番着信状況	27
別表Ⅳ－ 3	電話種別による119番着信件数の推移	28
別表Ⅳ－ 4	電話種別毎の通報状況	28
別表Ⅳ－ 5	携帯電話からの着信状況	28
別表Ⅳ－ 6	携帯電話の消防機関別転送状況	29
別図Ⅳ－ 1	通報内容別着信状況	29
別図Ⅳ－ 2	月別着信状況	30
別図Ⅳ－ 3	電話種別毎の着信比率	30
別図Ⅳ－ 4	時間帯別着信件数の推移	31
別図Ⅳ－ 5	電話種別による通報状況	31

災害概況について

I 火災概況

平成22年中の火災件数は76件で、前年の100件に比べ24件の大幅な減少となっており、これは西部広域消防発足以来最も少ない火災件数です。なお、日南町においては平成22年中、火災は発生していません。

火災のうち建物火災については前年に比べ5件減っていますが、焼損面積は3,760㎡増えています。これは、1月に大きな工場火災が発生したことによるものです。

火災による死者は4人で、前年より2人増加しています。4人のうち3人は建物火災によるもので、夜中の2時から4時に発生しています。このうち1名は65歳以上の高齢者でした。死亡原因については、2人が逃げ遅れ、2人がその他となっています。負傷者は15人で、このうち8人が65歳以上の高齢者の方でした。負傷者の発生状況については、6人が消火中、2人が避難中、1人が就寝中、6人がその他となっています。

今後、住民に対する出火防止のための啓発とともに、万一火災が発生した時に、早期発見と早期避難ができるよう、住宅用火災警報器の設置を促進していくことが重要と考えます。

II 救急概況

救急出動件数は8,975件(554件の増・+6.6%)で、救急搬送人数は8,495人(572人の増・+7.2%)で、4年振りの増加となっています。事故種別ごとの出動件数は、急病が5,478件(61.0%)と半数以上を占め、次いで転院搬送1,148件(12.8%)、一般負傷1,084件(12.1%)、交通事故861件(8.7%)の順となっています。

年齢別の搬送人数は、65歳以上の高齢者が4,856人(57%)と全搬送人数に占め、今後も少子高齢化の進展に伴い更に割合が増加することが予測されます。

心肺停止傷病者に対して、家族等による応急手当の割合が51%となっています。救急現場での早期の応急手当が救命のチャンスを拡大しますので、住民への心肺蘇生法の普及やAEDの設置が不可欠です。

Ⅲ 救助概要

救助出動件数は155件(15件の減・－8.8%)、救助活動件数は118件(11件の減・－8.5%)となっています。また、救助人員は111人(14人の増・＋14.4%)です。

事故種別毎の救助出動件数を見ると、交通事故が66件(11件の減・－14.2%)と最も多く、次いでその他の事故が37件(18件の増・＋94.7%)、火災が25件(19件の減・－43.2%)、水難事故が16件(1件の減・－5.8%)、建物等による事故が4件(3件の減・－42.9%)、機械による事故が4件(2件の減・－33.3%)となっています。

救助人員では交通事故が最も多く56人(3人の増・＋5.7%)、次いでその他28人(13人の増・＋86.7%)、水難事故12人(5人の増・＋71.4%)、火災5人(1人の減・－16.7%)の順となっています。

全国的に発生している地震や列車事故などの大規模災害時には、県内外の消防機関、医療機関、防災機関、国、県、市町村などの迅速な連携活動が必要不可欠となっています。

Ⅳ 119番着信状況

平成22年の総着信件数は12,722件(914件の増・＋7.7%)で、平成17年をピークに減少傾向となっていましたが増加しています。救急通報(537件増・＋6.6%)訓練通報等(351件増・26%)が増加し、火災通報(34件減・－17%)悪戯通報(32件減・－23%)減少しています。電話種別による着信状況は、固定電話が6,967件(124件減・－1.8%)、IP電話が2,047件(510件増・＋33%)、携帯電話が3,708件(527件増・14%)となっています。問い合わせや悪戯等を除く災害通報は8,978件で、このうち固定電話(IP電話を含む)が6,560件(73%)、携帯電話が2,418件(23%)となっています。また、事故種別ごとの携帯電話の占める割合は、火災通報が56.6%、救急通報が25.7%、救助通報が72.2%、警戒通報が53.9%となっています。救助、火災、警戒が救急に比べ携帯電話の比率が高くなっており、屋外で発見される場合の多い交通事故等や火災、たき火といった多くの人の目につきやすいものと、急病など屋内で発生することの多い救急との違いが現れています。

携帯電話からの通報時に、発信された位置情報を取り込む「携帯電話の位置情報通知システム」の導入と、今後、正確な位置情報を発信できるGPS機能付き携帯電話の普及に伴い、その機能が更に発揮されるものと考えています。

I 火災概況

(平成22年1月～12月)

1 火災状況

(1) 火災件数

平成22年中の火災件数は76件で、前年に比べ24件少なく、西部広域消防発足以来最も少ない火災件数となっています。特に、その他火災の件数が前年の34件から17件に半減しており、この要因としては3月から5月にかけて、雨の量が平年より相当多かったため、春先に多発する草火災が少なかったことが挙げられます。

(別表I-1、別表I-5、別図I-1参照)

(2) 火災種別

種別ごとの構成比をみますと、建物火災が全体の64.5%を占め、次いでその他火災22.4%、車両火災7.9%、林野火災3.9%の順となっています。

(別表I-1、別図I-2参照)

(3) 月別・時間帯別

月別の火災件数をみますと、5月・8月が最も多く9件、次いで1月・7月が8件、4月・6月・9月の7件、2月の6件となっています。

種別ごとの火災発生状況をみますと、建物火災は1月に7件、その他火災は5月に5件と最も多く発生しています。林野火災は2月・8月・9月に1件ずつ発生しています。

時間帯別の建物火災件数をみますと、17時から18時の時間帯に最も多く6件、次いで3時から4時の時間帯に5件発生しています。

(別表I-2、別図I-3、別図I-4参照)

(4) 市町村別

市町村別の火災件数をみますと、米子市が最も多く35件、次いで大山町の15件、南部町の10件となっています。日南町では平成22年中、火災は発生していません。

(別表I-3、別図I-5参照)

(5) 損害額

損害額は187,017千円で、前年の190,082千円とほぼ同様です。

種別ごとでは、建物火災が184,933千円で全体の98.9%を、月別では4月の86,896千円が全体の46.5%を占めています。

(別表I-1、別表I-2参照)

2 出火原因

出火原因の第1位は「こんろ」で10件、次いで「放火(放火の疑い含む)」

で8件、「たき火」7件、「たばこ」6件の順となっています。

(別表 I - 4 参照)

3 死者・負傷者

火災による死者は4人で、前年より2人増加しています。4人のうち3人は建物火災によるもので、いずれも夜中の2時から4時に発生しています。このうち1人は65歳以上の高齢者でした。死亡原因については、2人が逃げおくれ、2人がその他となっています。

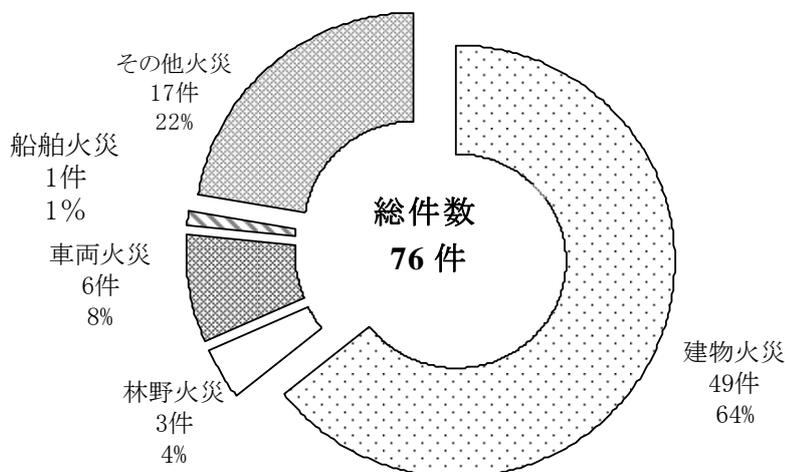
負傷者は前年同様15人で、このうち8人が65歳以上の高齢者の方でした。負傷者の発生状況については、6人が消火中、2人が避難中、1人が就寝中、6人がその他となっています。

(別表 I - 1、別図 I - 4、別図 I - 6、別図 I - 7 参照)

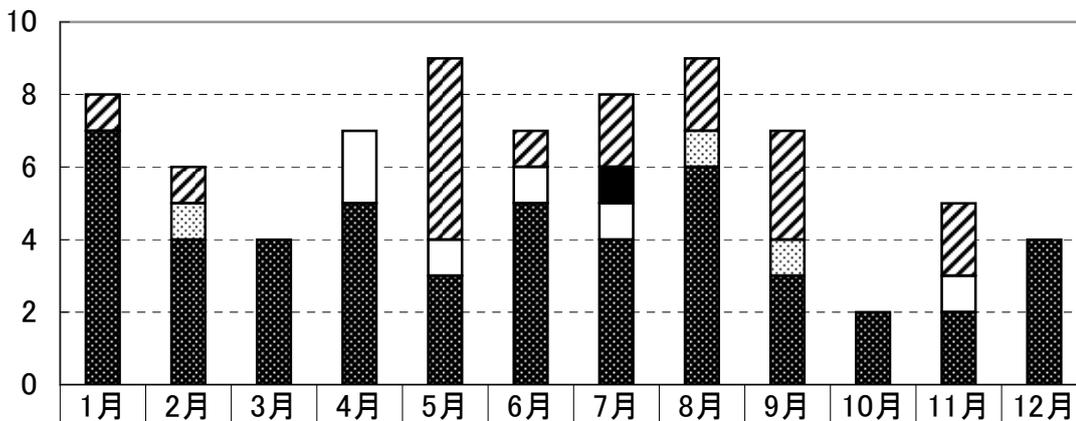
別図 I - 1 火災件数の推移



別図 I - 2 火災種別ごとの件数と構成比率

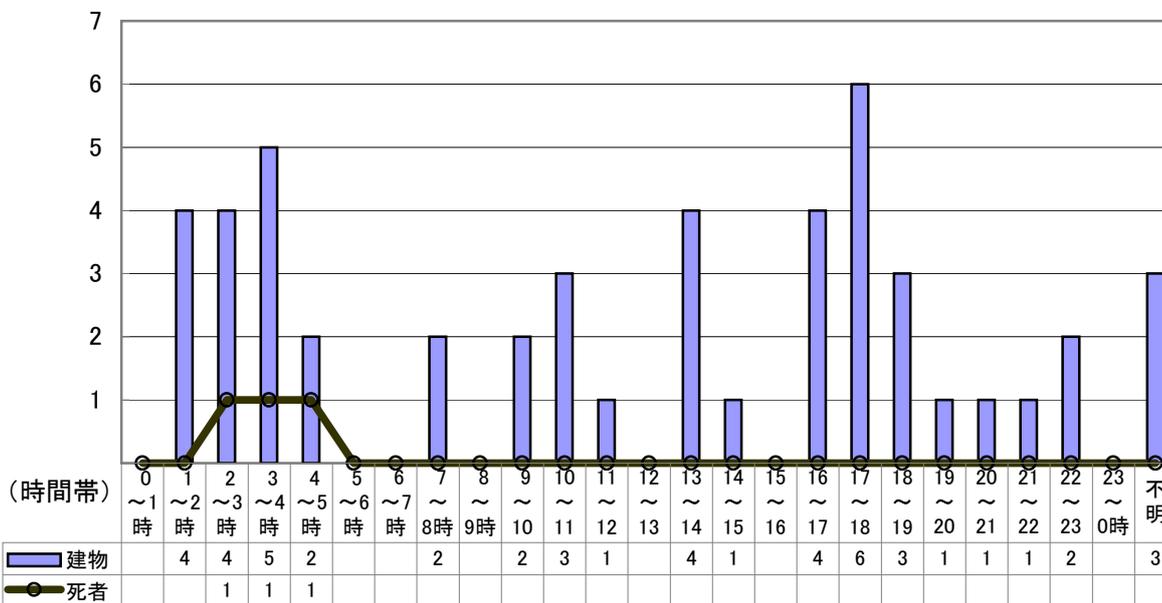


別図 I - 3 月別の火災件数

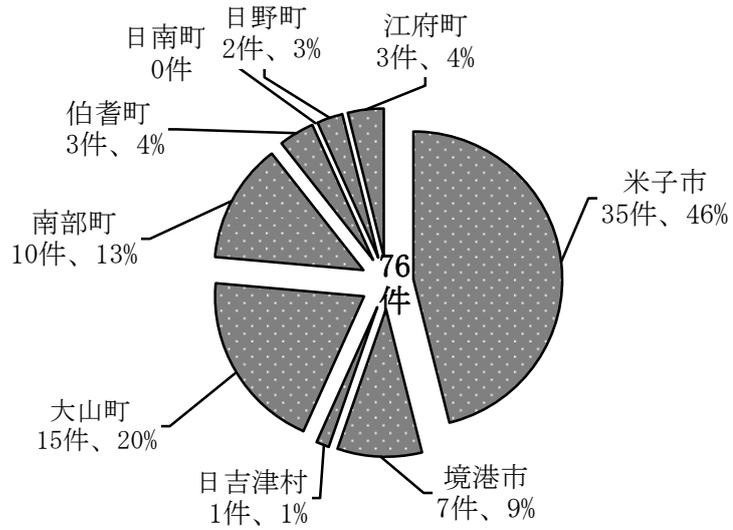


月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	8	6	4	7	9	7	8	9	7	2	5	4
その他火災	1	1			5	1	2	2	3		2	
船舶							1					
車両火災				2	1	1	1				1	
林野火災		1						1	1			
建物火災	7	4	4	5	3	5	4	6	3	2	2	4

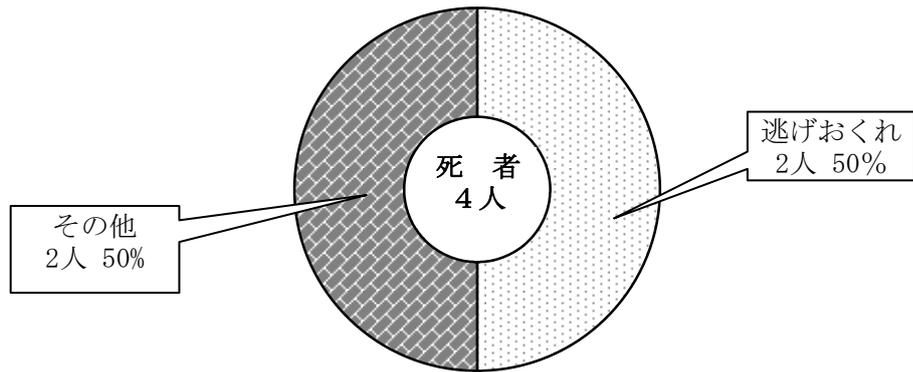
別図 I - 4 時間帯別建物火災発生件数及び建物火災での死者数



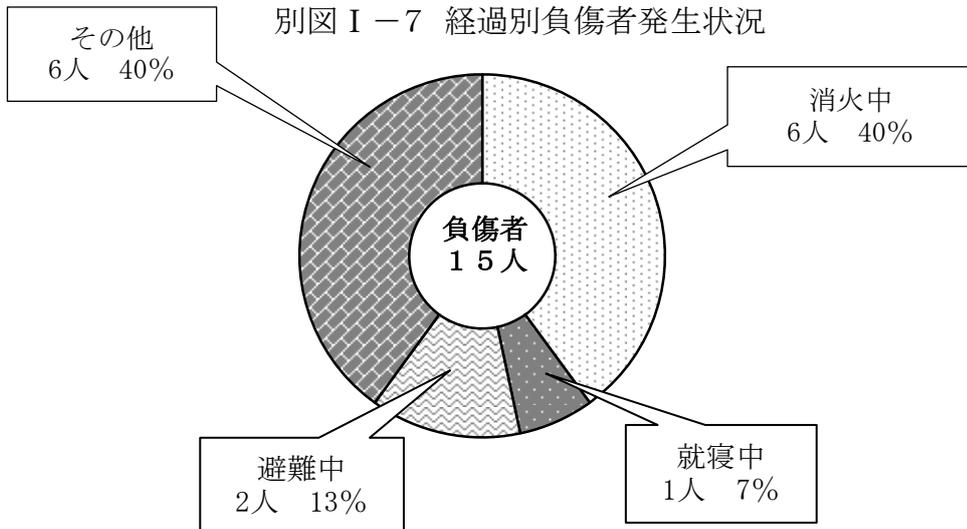
別図 I - 5 市町村別火災件数の構成比率



別図 I - 6 経過別死者発生状況



別図 I - 7 経過別負傷者発生状況



別表 I - 1 平成 22 年の火災の概況

区 分	平成 22 年 A	平成 21 年 B	増 減 C (A-B)	増 減 率 C/B (%)	
火災件数(件)	76 (100%)	100 (100%)	-24	-24.0%	
建物火災	49 (64.5%)	54 (54.0%)	-5	-9.3%	
林野火災	3 (3.9%)	4 (4.0%)	-1	-25.0%	
車両火災	6 (7.9%)	8 (8.0%)	-2	-25.0%	
船舶火災	1 (1.3%)	0 (0.0%)	1		
その他火災	17 (22.4%)	34 (34.0%)	-17	-50.0%	
焼損棟数(棟)	87 (100%)	76 (100%)	11	14.5%	
全焼	29 (33.3%)	21 (27.6%)	8	38.1%	
半焼	6 (6.9%)	3 (3.9%)	3	100.0%	
部分焼	28 (32.2%)	29 (38.2%)	-1	-3.4%	
ぼや	24 (27.6%)	23 (30.3%)	1	4.3%	
罹災世帯数(世帯)	37 (100%)	47 (100%)	-10	-21.3%	
全損	14 (37.8%)	12 (25.5%)	2	16.7%	
半損	1 (2.7%)	3 (6.4%)	-2	-66.7%	
小損	22 (59.5%)	32 (68.1%)	-10	-31.3%	
罹災人員(人)	85	125	-40	-32.0%	
焼損面積	建物(m ²)	6,947	3,187	3,760	118.0%
	林野(a)	9	20	-11	-55.0%
損害額(千円)	187,017	190,082	-3,065	-1.6%	
建物火災	184,933	187,180	-2,247	-1.2%	
林野火災	18	286	-268	-93.7%	
車両火災	1,940	2,438	-498	-20.4%	
船舶火災	15	0	0		
その他火災	111	178	-67	-37.6%	
1件当り 損害額 (千円)	火災全体	2,461	1,901	560	29.5%
	建物火災	3,774	3,466	308	8.9%
1件当り 損害面積	建物(m ²)	142	59	83	140.2%
	林野(a)	3	5	-2	-40.0%
死者(人)	4	2	2	100.0%	
負傷者(人)	15	15	0	0.0%	
出火率(人口1万人当り)	3.12	4.15	-1.03	-24.8%	

備考 () 内は構成比を示す。なお、損害額については概数

別表 I - 2 月別火災発生状況

	合計		建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		その他火災			焼損棟数				り災世帯			死者	負傷者	30日以内死亡	
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	焼損面積 ㎡	件数	損害額 (千円)	焼損面積 a	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	合計	全	半	小	り	災				人員
1月	8	32,275	7	32,274	3440					1	1	14	4	3	7	3	4	16	1	8				
2月	6	7,311	4	7,296	425	1	15	7		1		4	1	1	2	3	5	1	1					
3月	4	3,513	4	3,513	199							6	2	4		2	5							
4月	7	86,896	5	85,137	1087			2	1,759			16	5	1	5	4	15							
5月	9	557	3	526	1			1	31			3		1	2	2	3	2	3	1				
6月	7	6,262	5	6,190	6			1	69			6	1	1	4	2	6							
7月	8	16,553	4	16,445	216			1	71	1	15	6	1	2	1	2	4	1	1	2	6	1	1	
8月	9	23,061	6	23,061	914	1						13	7	6		5	1	4	14	3				
9月	7	2,603	3	2,555	373	1	3	2				8	2	2	4	1	3	1	3	1				
10月	2	3,508	2	3,508	162							4	2	1	1	5	4	1	9	1				
11月	5	2,613	2	2,563	69			1	10			2	2		1	1	1		1					
12月	4	1,865	4	1,865	55							5	2	2	1	1	2	1	2	1				
合計	76	187,017	49	184,933	6947	3	18	9	1,940	1	15	87	29	6	28	24	37	14	1	22	85	4	15	0

別表 I - 3 市町村別火災状況

	火災件数				焼損面積		焼損棟数				り災世帯数			り災人員	死者	負傷者 30日以内死亡	損害額 (千円)						
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	床面積 ㎡	表面積 ㎡	林野	面積 ㎡	合計	全	半					小	合計	全	半	小	
米子市	35	24	2	3	1	5	1,179	47	7	34	6	4	11	13	18	3	1	14	43	1	8	75,908	
境港市	7	4		1		2	3,186	3		6	3		2	1	7	4		3	16	1	1	16,466	
日吉津村	1					1																	
大山町	15	9				6	1,180	104		30	8	1	11	10	7	4		3	15	1	2	61,285	
南部町	10	7	1			2	278	1	2	9	6	1	2		3	2		1	8		2	4,107	
伯耆町	3	3					945			6	5		1								1	18,251	
日南町	0																						
日野町	2	1		1				1		1	1		1		1			1	2	1		763	
江府町	3	1		1		1	179			1	1				1				1		1	10,237	
合計	76	49	3	6	1	17	6,947	156	9	87	29	6	28	24	37	14	1	22	85	4	15	187,017	

別表 I - 4 出火原因別火災発生概況

原因別	出火件数							損害額（千円）	死者負傷者	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	死者	負傷者
合計	76	49	3	6	1		17	187,017	4	15
たばこ	6	5					1	47,976		1
こんろ	10	10						5,137		4
かまど										
風呂かまど	1	1						406		1
炉										
焼却炉	1						1			
ストーブ	1	1						1		1
こたつ										
ボイラー	1	1						28		
煙突・煙道	1	1						1,270		
排気管										
電気機器	2	1		1				678		
電気装置										
電灯・電話等の配線	1	1						160		
内燃機関										
配線器具										
火あそび	1		1							
マッチ・ライター	1					1		15		
たき火	7	1	2				4	2,212		3
溶接機・切断機	1						1	40		
灯火	1	1						362		
衝突の火花										
取灰										
火入れ										
放火	2	2						5	1	
放火の疑い	6	5					1	30,166		
その他	16	9		1			6	12,782		
不明・調査中	17	10		4			3	85,778	3	5

別表I-5 過去5年間の市町村別火災件数

	平成22年				平成21年				平成20年				平成19年				平成18年													
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他						
米子市	35	24	2	3	1	5	54	28		4		22	47	30		9		8	56	37		5		14	59	50		4		5
境港市	7	4		1		2	22	14			8	23	10				13	24	8		1		15	23	18		1		4	
日吉津村	1					1	0					0							0					2				1		1
大山町	15	9				6	12	7	1	1	3	12	6	2	1	3	9	5	2	1			1	11	6		3		2	
南部町	10	7	1			2	1	1				3	3				6	3	2	1				3	2		1			
伯耆町	3	3					3	2		1		7	3		3	1	6	4	1				1	4	2		1		1	
日南町	0						5	1	2	2		6	5	1					3	3				9	8				1	
日野町	2	1		1			0					0							4	3		1		1				1		
江府町	3	1		1		1	3	1	1		1	5	4	1				2	2				0							
合 計	76	49	3	6	1	17	100	54	4	8	34	103	61	3	14	25	110	65	5	9		31	112	86	1	11		14		

別表 I -6 過去10年間の火災発生状況

区分	合計		建物火災			林野火災			車両火災		船舶火災		その他火災				焼損棟数				罹災世帯				死者	負傷者
	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	焼損面積 ㎡	件数	損害額 (千円)	焼損面積 a	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	件数	損害額 (千円)	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	全損	半損	小損	罹災人員 (人)		
13年	120	232,096	63	200,616	3,416	5	5,207	199	21	21,315	1	4,500	30	458	88	26	7	29	26	55	13	5	37	195	6	11
14年	143	261,812	72	252,724	4,364	10	1,638	453	13	6,538			48	912	105	33	5	40	27	66	17	2	47	207	8	21
15年	111	145,855	73	143,834	3,875	2		6	14	1,588			22	433	99	23	11	37	28	62	17	10	35	191	9	23
16年	105	254,660	69	249,412	5,900	6	5	30	14	5,243			16		103	27	12	33	31	56	11	6	39	190	4	18
17年	129	360,219	82	349,437	8,124	5	563	136	17	9,689	1	200	24	330	160	55	19	38	48	101	39	13	49	267	10	19
18年	112	288,024	86	284,659	5,721	1			11	2,576			14	789	137	28	13	55	41	78	18	9	51	238	5	19
19年	110	92,913	65	89,856	2,305	5	427	48	9	2,324			31	306	74	17	6	23	28	33	7	5	21	91	6	14
20年	103	587,798	61	558,269	3,889	3	15	2	14	28,639			25	875	88	29	3	30	26	40	7		33	135	7	9
21年	100	190,100	54	187,180	3,187	4	286	20	8	2,438			34	178	76	21	3	29	23	47	12	3	32	125	2	15
22年	76	187,017	49	184,933	6,947	3	18	9	6	1,940	1	15	17	111	87	29	6	28	24	37	14	1	22	85	4	15

II 救急概況

(平成22年1月～12月)

1 救急出動件数、救急搬送状況

平成22年中の救急出動件数は、前年に比べて554件増の8,975件、搬送人員は572人増の8,495人で、4年ぶりの増加となりました。
(別図Ⅱ-1、Ⅱ-2、Ⅱ-3参照)

2 市町村別救急活動状況

救急出動件数、救急搬送人員ともに増加しましたが江府町は減少しました。米子市は過去最多の件数となりました。
(別図Ⅱ-4参照)

3 傷病程度別搬送状況

傷病程度別の搬送人員では、中等症が4,193人(49.4%)で最も多く、次いで軽症が2,977人(35.0%)となっています。
(別図Ⅱ-5参照)

4 年齢別搬送状況

年齢別の搬送人員では、65歳以上の高齢者が4,856人(57.2%)と最も多くなっています。
(別図Ⅱ-6参照)

5 署所別救急活動状況

署所別では、米子消防署の出動件数及び搬送人員がそれぞれ3,169件(35.3%)、2,922人(34.4%)と最も多くなっています。
(別図Ⅱ-7参照)

6 月別救急活動状況

月別の出動件数と搬送人員では、8月がそれぞれ886件(9.9%)、833人(9.8%)で最も多く、続いて12月の838件(9.3%)、794人(9.3%)となっています。
(別図Ⅱ-8参照)

7 現場到着所要時間、収容所要時間

平均現場到着所要時間は7分27秒で前年より21秒の遅延、平均収容所要時間は34分36秒で前年より51秒遅延しました。
(別図Ⅱ-9、Ⅱ-10参照)

8 応急手当実施状況

心肺停止傷病者255人のうち、家族等により応急手当を受けた人は、131人(51%)でした。
(別図Ⅱ-11参照)

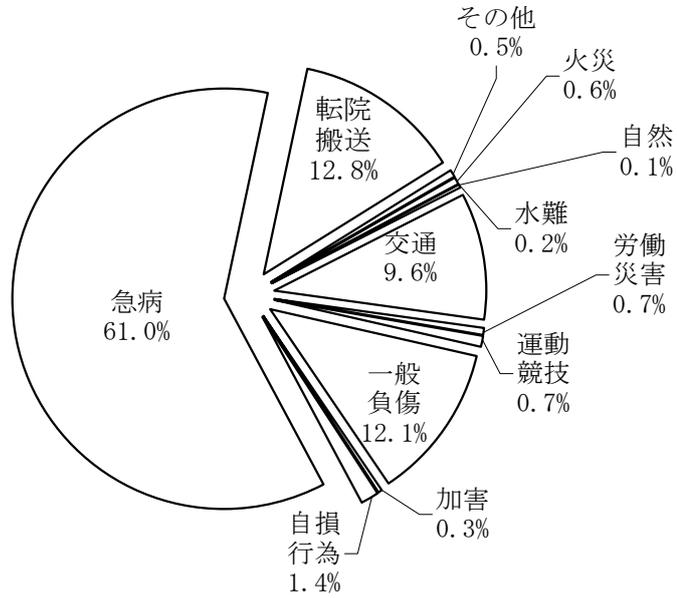
9 高度救命処置状況

心肺停止傷病者255人のうち187人が救急救命士による高度救命処置を受け、そのうち24人に回復が見られました。
(別図Ⅱ-12、Ⅱ-13参照)

10 救急講習件数の推移

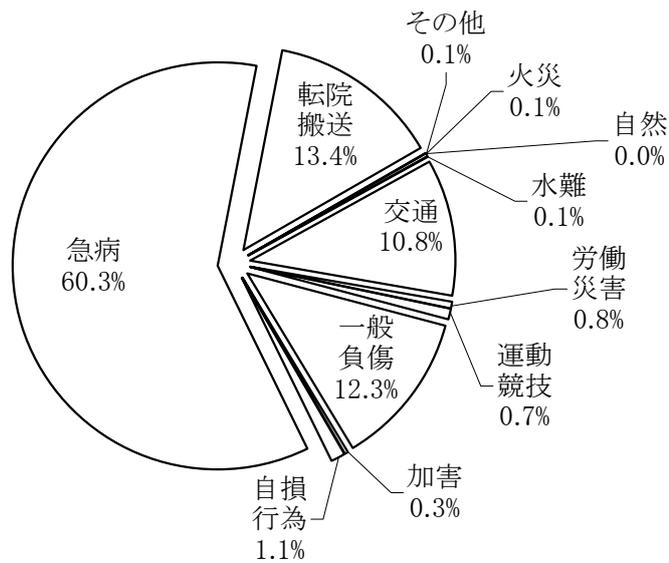
救急講習には、毎年約10,000の方が受講され、圏域住民の応急手当に対する意識の高さがうかがえます。
(別図Ⅱ-14、Ⅱ-15、別表Ⅱ-1参照)

別図Ⅱ-1 事故種別救急出動状況



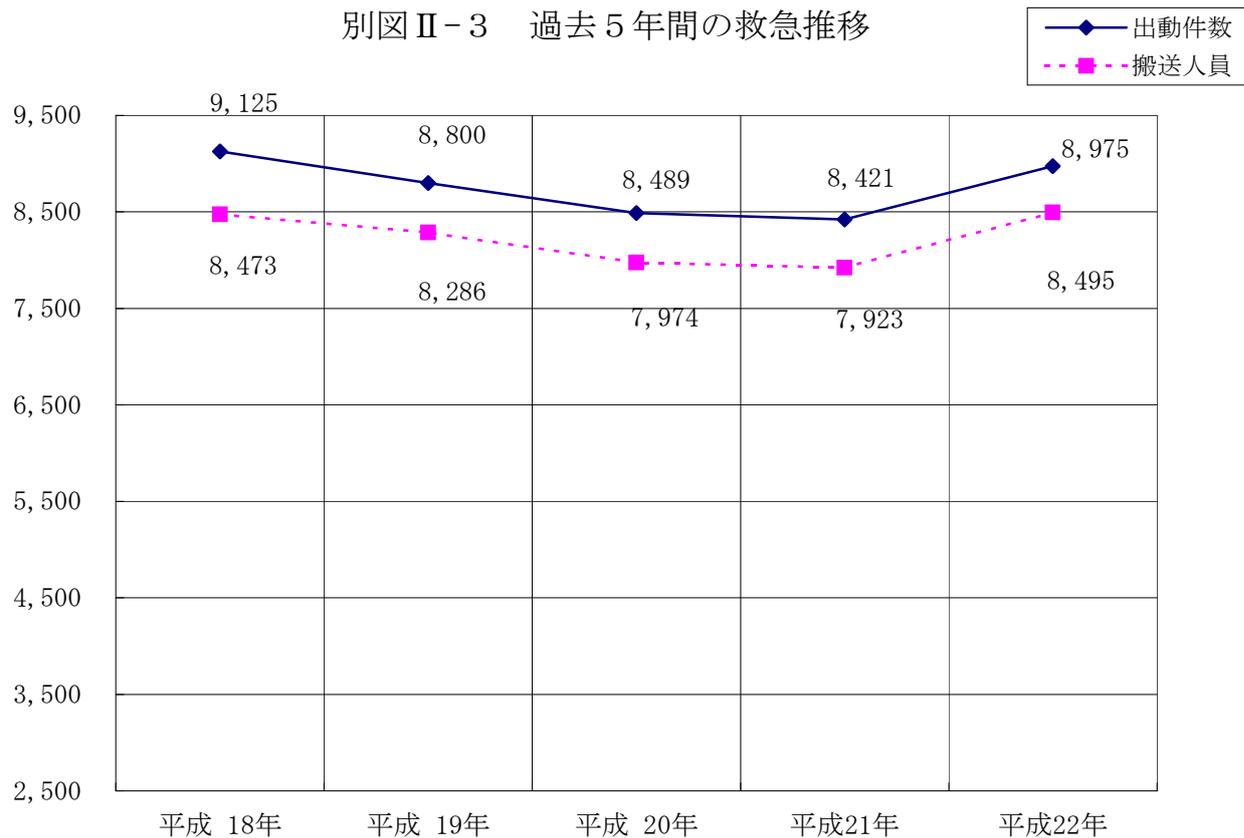
事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
出動件数	52	5	18	861	65	60	1,084	26	129	5,478	1,148	49	8,975

別図Ⅱ-2 事故種別救急搬送状況

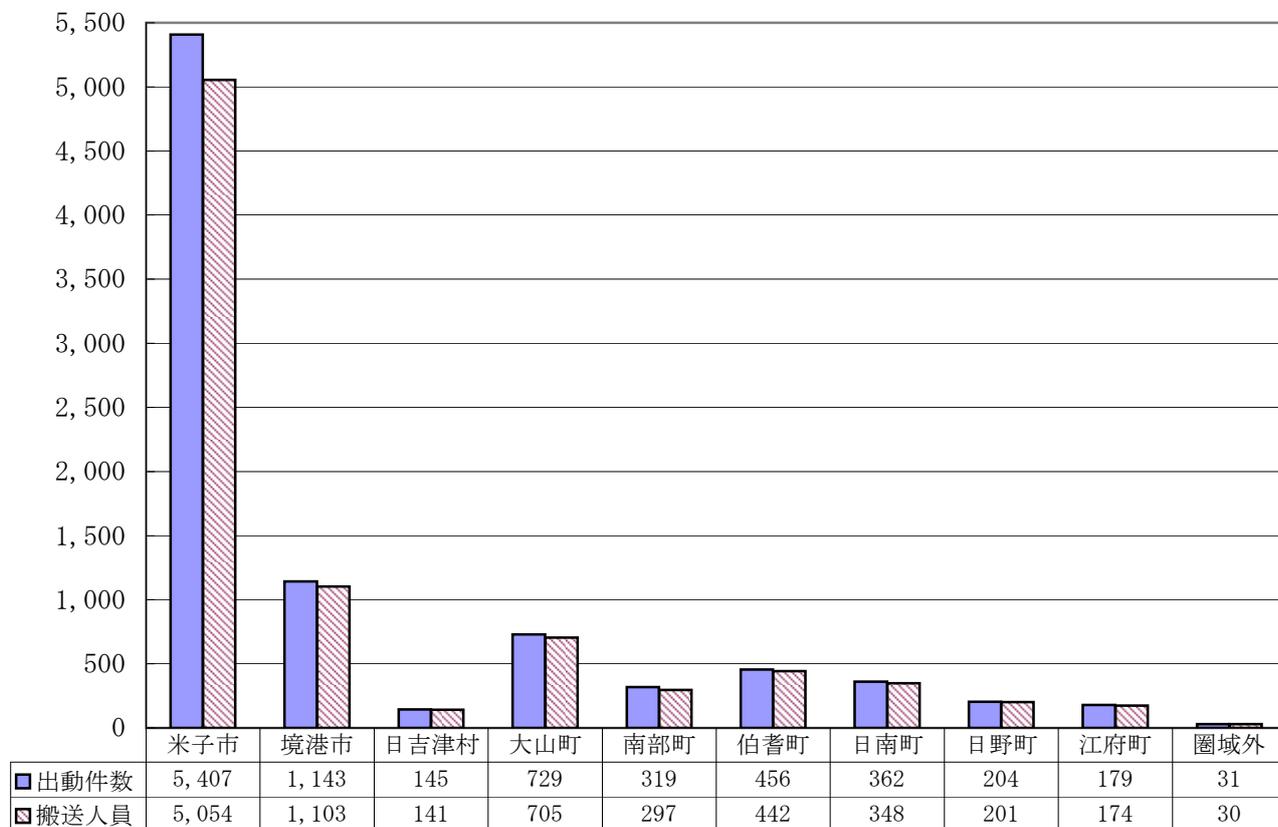


事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
搬送人員	9	4	7	916	65	61	1,047	24	93	5,122	1,140	7	8,495

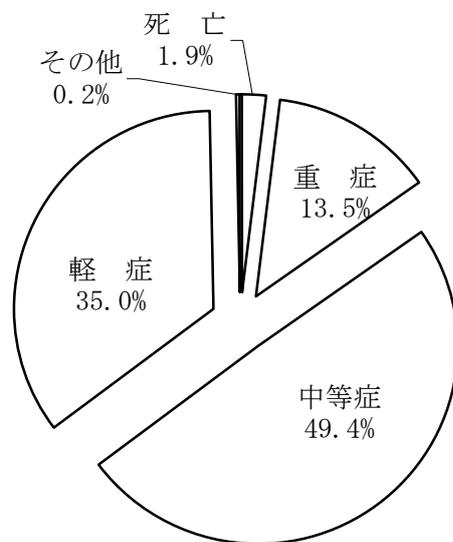
別図Ⅱ-3 過去5年間の救急推移



別図Ⅱ-4 市町村別救急活動状況

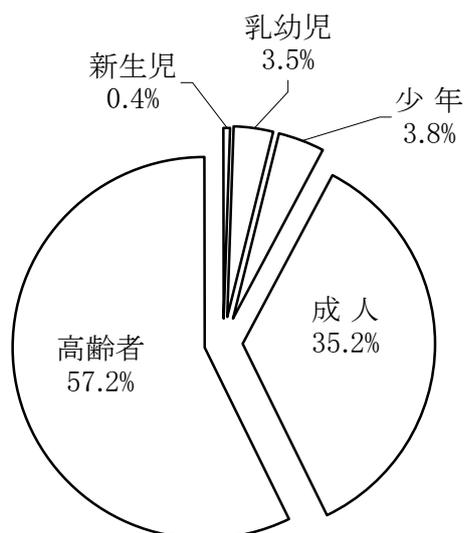


別図Ⅱ-5 傷病程度別搬送状況



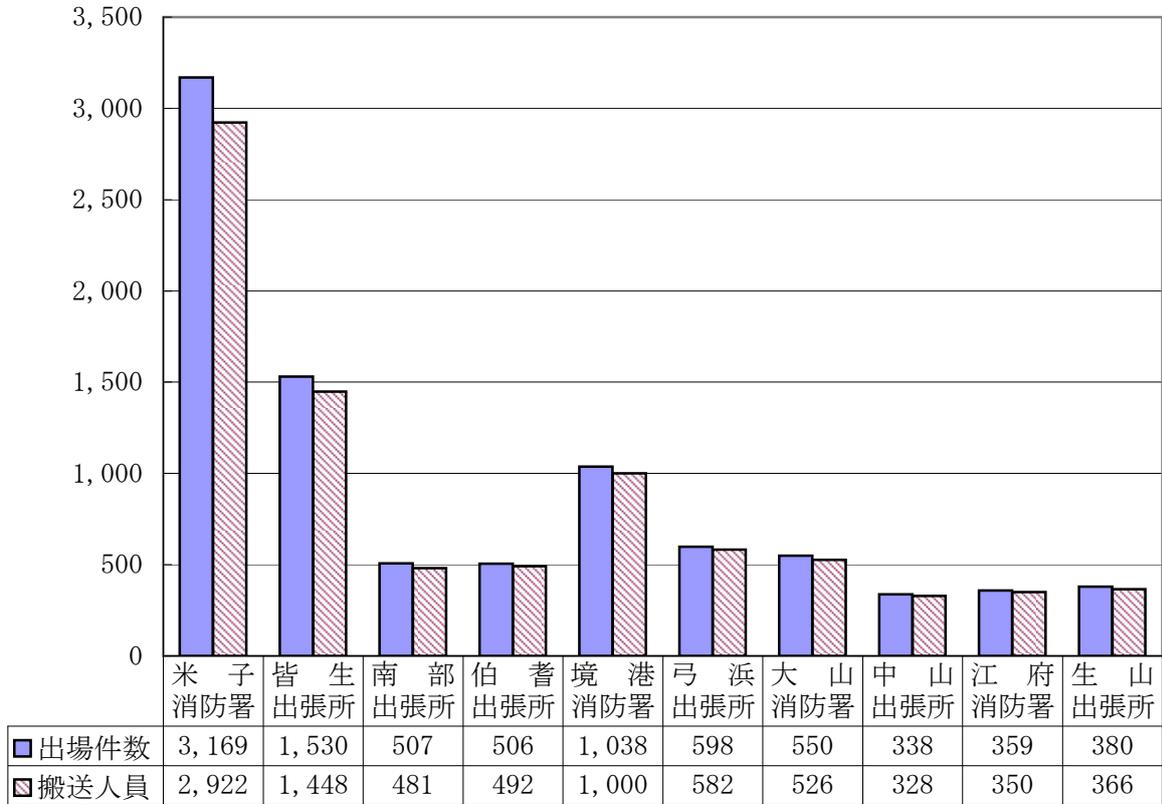
程 度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
搬送人員	161	1,146	4,193	2,977	18	8,495

別図Ⅱ-6 年齢別搬送状況

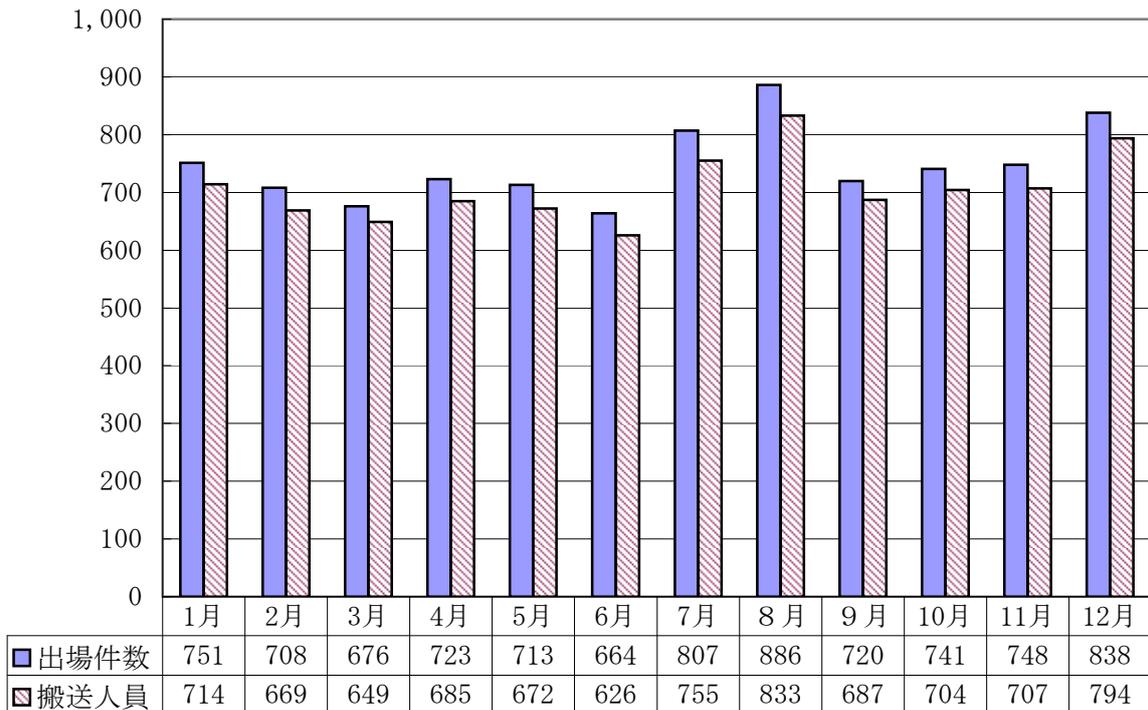


	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合 計
搬送人員	38	294	321	2,986	4,856	8,495

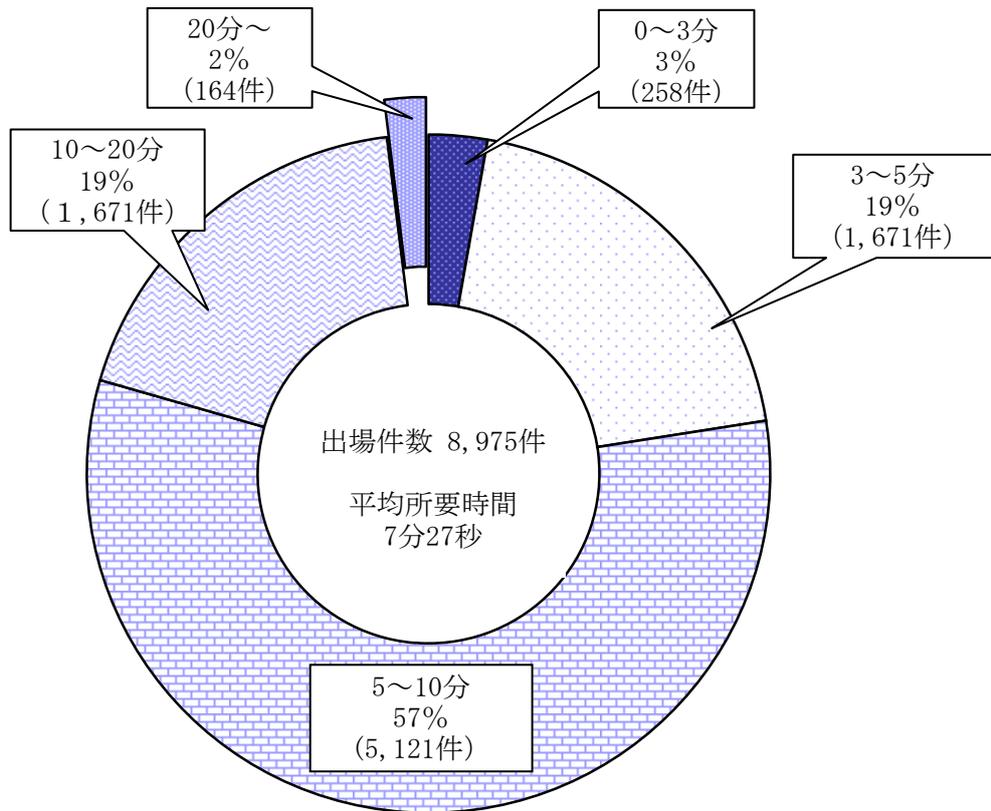
別図Ⅱ-7 署所別救急活動状況



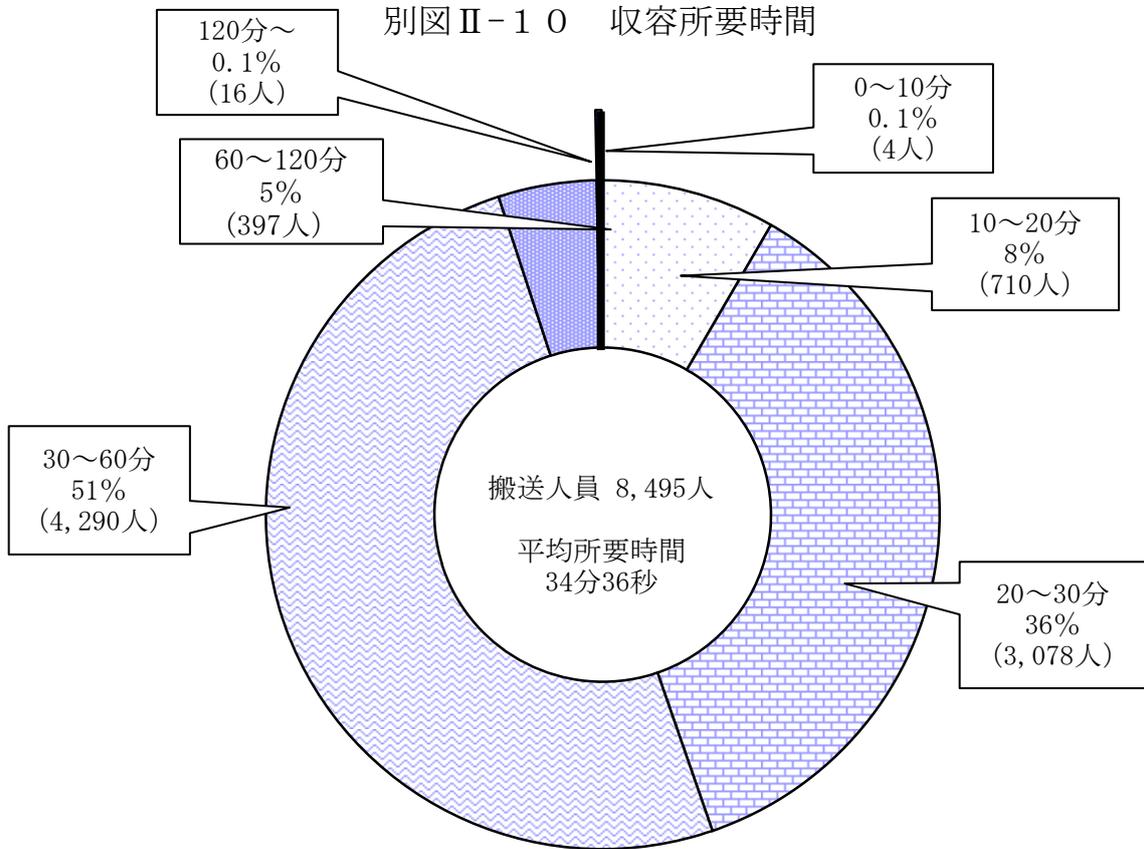
別図Ⅱ-8 月別救急活動状況



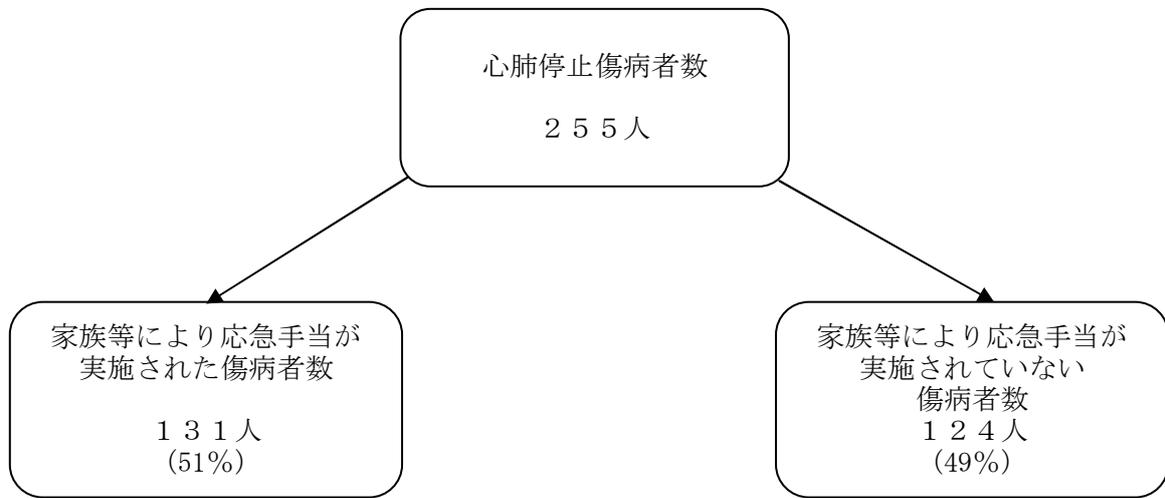
別図Ⅱ-9 現場到着所要時間



別図Ⅱ-10 収容所要時間



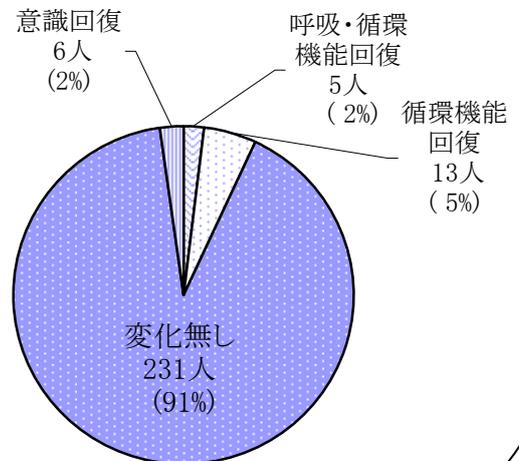
別図Ⅱ-1 1 応急手当実施状況



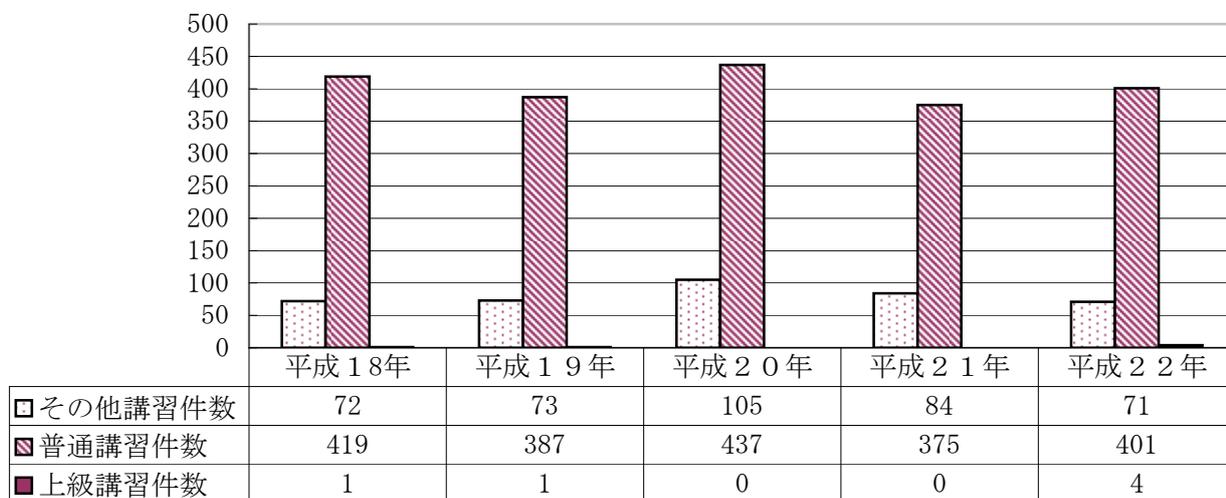
別図Ⅱ-12
高度救命処置状況



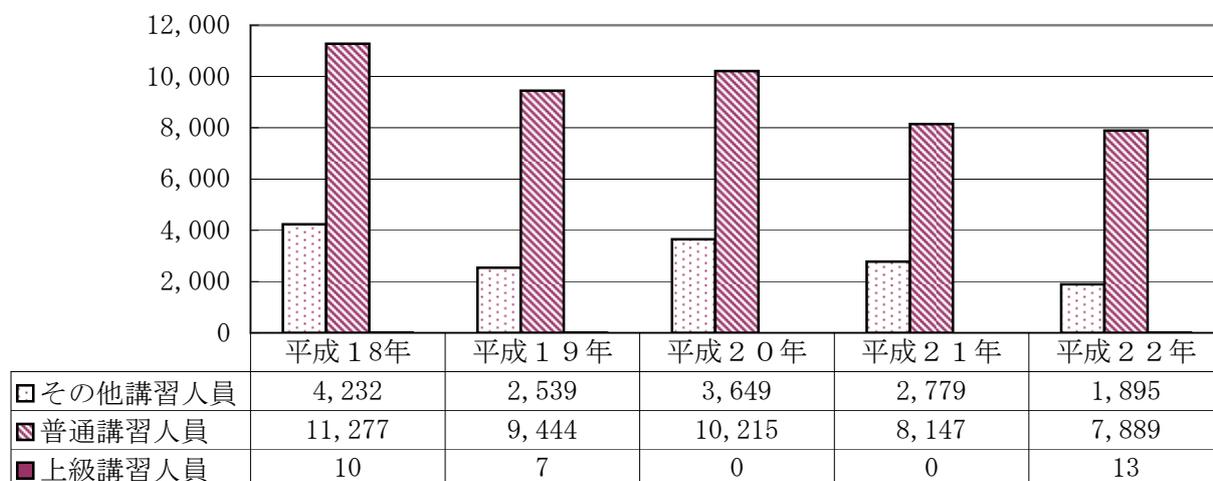
別図Ⅱ-1 3
医師引き継ぎ時の状況



別図Ⅱ－14 過去5年間の救急講習件数推移



別図Ⅱ－15 過去5年間の救急講習人員推移



別図Ⅱ－16 応急手当指導員・普及員の養成

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
応急手当指導員	0	11	16	0	0
応急手当普及員	12	0	21	15	0

別表Ⅱ－1 過去5年間の市町村別救急件数

		平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
米子市	件数	5,257	5,155	4,925	5,019	5,407
	人員	4,825	4,820	4,563	4,681	5,054
境港市	件数	1,240	1,223	1,207	1,105	1,143
	人員	1,150	1,161	1,144	1,049	1,103
日吉津村	件数	123	121	130	120	145
	人員	121	113	123	111	141
大山町	件数	835	745	697	711	729
	人員	803	709	674	672	705
南部町	件数	345	323	299	304	319
	人員	329	306	288	290	297
伯耆町	件数	477	458	443	395	456
	人員	443	429	422	380	442
日南町	件数	378	317	365	351	362
	人員	361	302	349	343	348
日野町	件数	212	213	189	168	204
	人員	199	207	185	160	201
江府町	件数	216	203	202	225	179
	人員	204	196	197	217	174
圏域外	件数	42	42	32	23	31
	人員	38	43	29	20	30
合計	件数	9,125	8,800	8,489	8,421	8,975
	人員	8,473	8,286	7,974	7,923	8,495

Ⅲ 救助概況

(平成22年1月～12月)

1 事故種別救助出動状況

救助出動件数は155件あり、そのうち交通事故が66件(42.6%)、その他の事故が37件(23.9%)、火災が25件(16.1%)、水難事故が16件(10.3%)、建物等による事故が4件(2.6%)、機械による事故が4件(2.6%)等の順となっています。

(別図Ⅲ—1参照)

2 事故種別救助活動状況

救助活動件数は118件あり、そのうち交通事故が45件(38.1%)、その他の事故が28件(23.7%)、火災が25件(21.2%)、水難事故が12件(10.2%)、建物等による事故4件(3.4%)等の順となっています。

(別図Ⅲ—2参照)

3 事故種別救助人員状況

救助活動により救助された人員は111人あり、そのうち交通事故が56人(50.5%)と最も多く、次いでその他の事故が28人(25.2%)、水難事故が12人(10.8%)、火災等による事故が5人(4.5%)、建物等による事故4人(3.6%)、風水害等自然災害4人(3.6%)等となっています。

(別図Ⅲ—3参照)

4 管轄別救助活動状況

消防署の管轄別に出動件数を見ると、米子消防署が89件(57.4%)と最も多く、次いで大山消防署が25件(16.1%)、境港消防署が24件(15.5%)、江府消防署が17件(11.0%)の順となっています。

(別図Ⅲ—4参照)

5 市町村別救助活動状況

市町村別に救助活動状況を比較して見ると、出動件数、活動件数、救助人員ともに、米子市が最も多く出動件数68件(43.9%)、次いで大山町が24件(15.5%)、境港市が21件(13.5%)、伯耆町が7件(4.5%)、等の順となっており、他米子道、山陰道、管轄外へも出動しています。

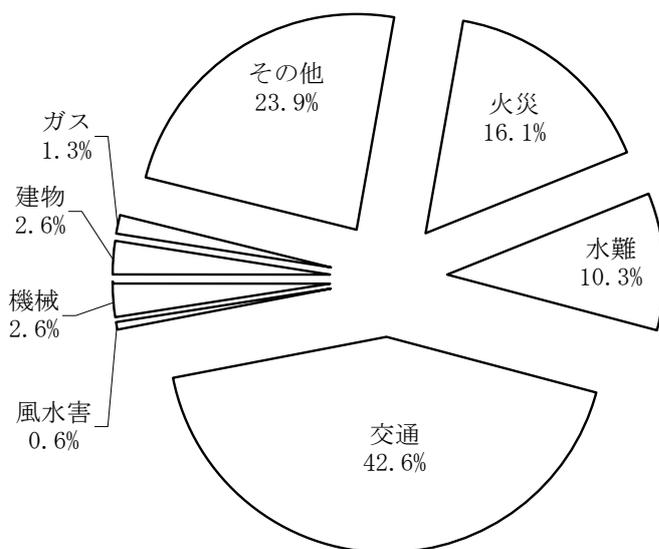
(別図Ⅲ—5参照)

6 月別救助活動状況

月別の救助出動件数を見ると、8月が20件(12.9%)と最も多く、次いで10月が18件(11.6%)、3月と4月が16件(10.3%)、12月が15件(9.7%)等の順となっています。

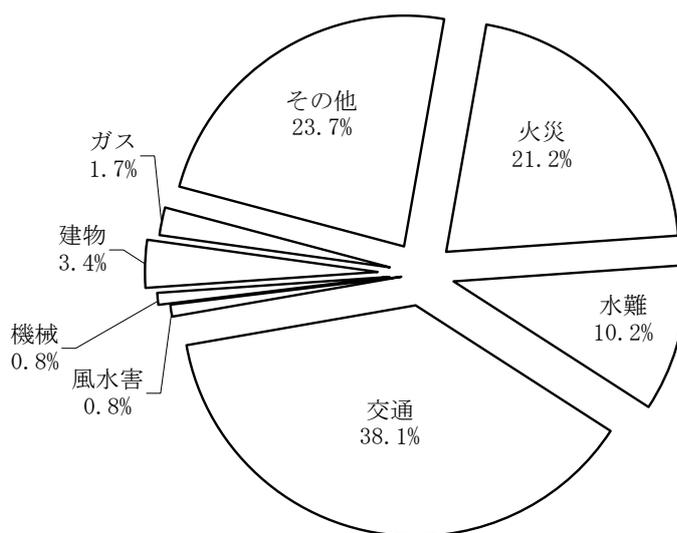
(別図Ⅲ—6参照)

別図Ⅲ-1 事故種別救助出動状況



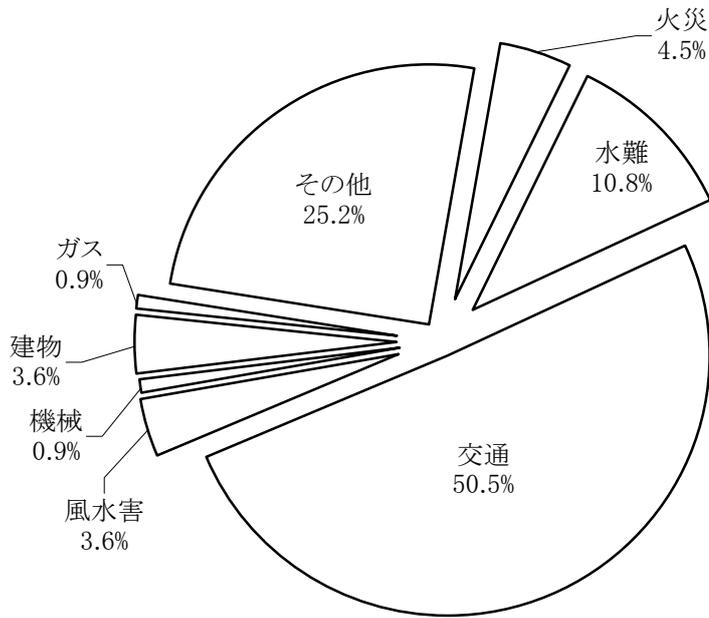
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
出場件数	25	16	66	1	4	4	2	0	37	155

別図Ⅲ-2 事故種別救助活動状況



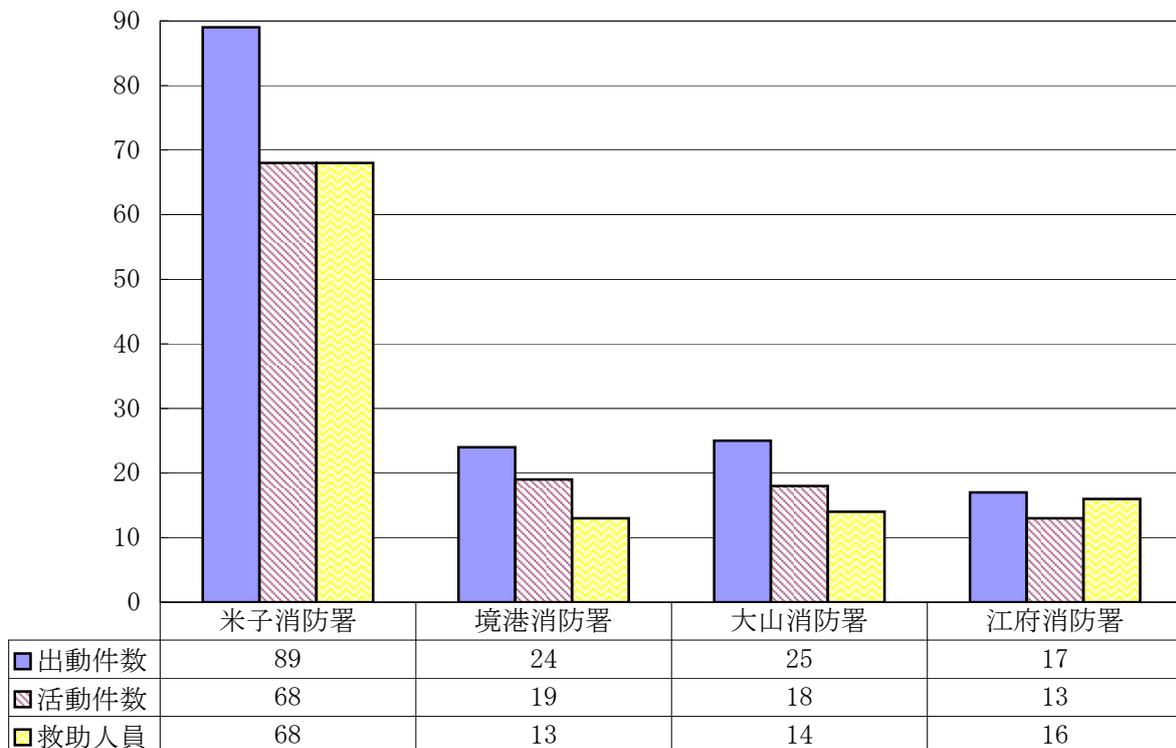
事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
活動件数	25	12	45	1	1	4	2	0	28	118

別図Ⅲ-3 事故種別救助人員状況

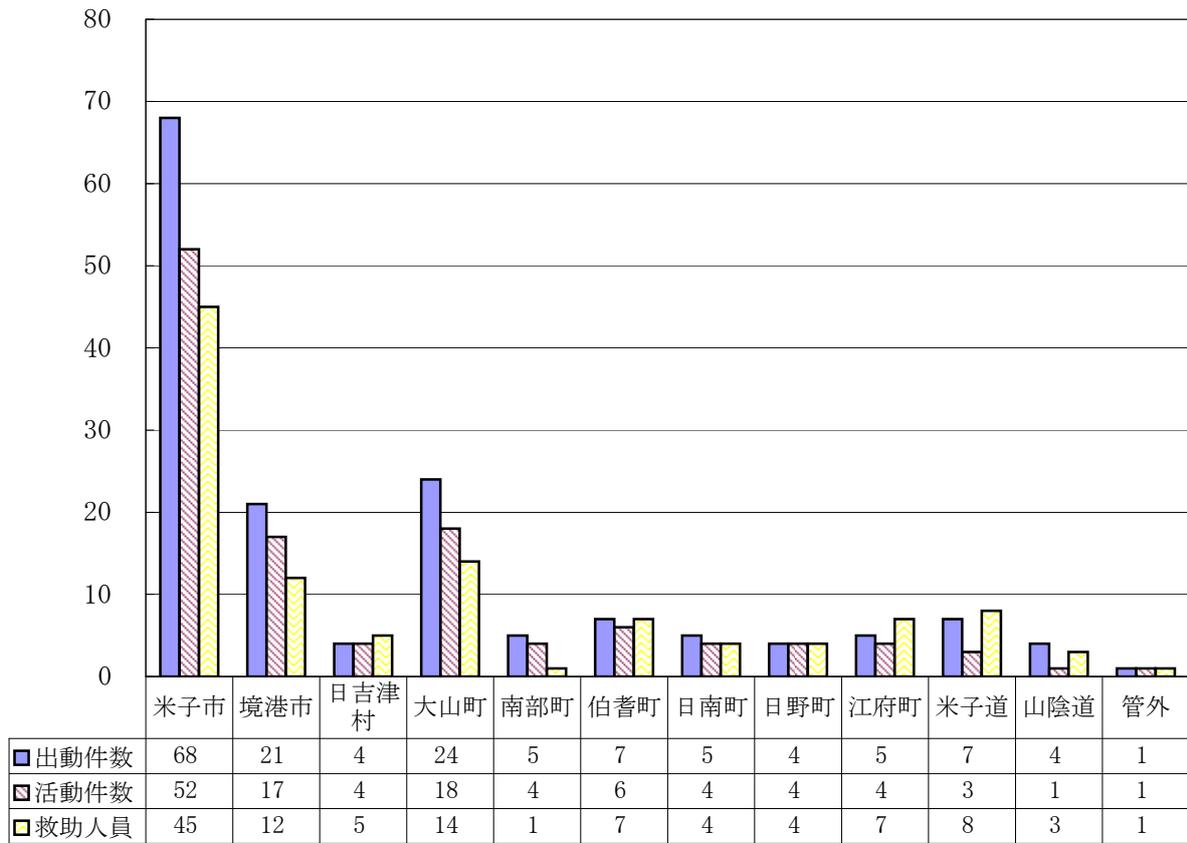


事故種別	火災	水難	交通	風水害	機械	建物	ガス	破裂	その他	計
救助人員	5	12	56	4	1	4	1	0	28	111

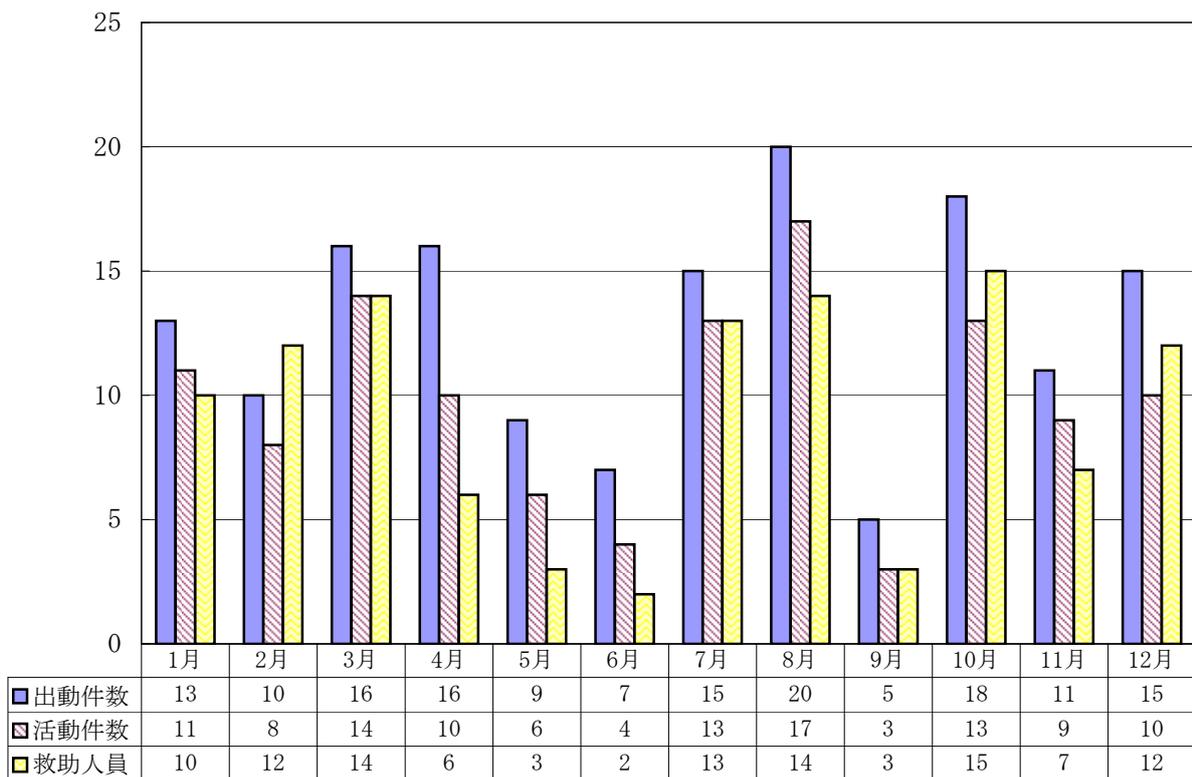
別図Ⅲ-4 管轄別救助活動状況



別図Ⅲ-5 市町村別救助活動状況



別図Ⅲ-6 月別救助活動状況



IV. 119番着信概況

(平成22年1月～12月)

1 概況

平成22年中の119番通報は、総着信件数で12,722件でした。昨年に比べて913件(7.7%)多くなっています。1ヶ月平均では約1060件、1日平均では約35件の着信となります。通報内容としては、救急通報が最も多く8,663件(68.1%)、火災通報は159件(1.2%)でした。そのほかの通報としては、間違いが769件(6.0%)、通報訓練などの通報が1,662件(13.1%)、休日・夜間などに病院に関する問い合わせ等が1,206件(9.5%)となっており、悪戯と思われるものも107件(0.8%)ありました。

(別表IV-1、別図IV-1参照)

2 月別の着信状況

月別での平均着信件数は、約1,060件で、最も多かったのは12月の1,235件、最も少なかったのは2月の936件です。火災通報の月平均着信件数は約13件で、最も多かったのは1月の28件、最も少なかったのは10月の5件でした。救急通報の月平均着信件数は約722件で、最も多かったのは8月の854件、最も少なかったのは6月の658件でした。

(別表IV-2、別図IV-2参照)

3 電話種別による通報状況

平成17年7月よりIP電話からの119番通報ができるようになりました。平成22年は2,047件で年々増加しています。

災害別の通報状況として、固定電話(IP電話含む)と携帯電話の通報比率を災害種別ごとに見ますと、火災など多くの人の目に付きやすい場合はほか、交通事故などの屋外での事故の場合に、携帯電話の比率が高くなっています。

(別表IV-3、別表IV-4、別図IV-3、別図IV-5参照)

4 携帯電話からの着信状況

携帯電話からの119番通報は3,708件で、全着信件数の約29%でした。携帯電話で119番通報されますと、必ずしも電話をされた地区を管轄する消防本部に接続されるとは限りません。管轄地区以外からの通報は、その地区を管轄する消防本部に電話を転送し対応してもらいます。これを転送処理件数として別表としています。他の消防本部への転送処理件数は41件あり、松江市消防本部が28件と最も多く、次いで安来市消防本部が10

件となっています。

(別表Ⅳ－3、別表Ⅳ－5、別表Ⅳ－6、別図Ⅳ－3参照)

5 時間帯別119番通報の着信状況

時間帯別119番通報の着信件数は、活動時間帯（午前8時頃～午後9時）に大半を占めていて、睡眠時間帯（午後10時～午前6時）では午前4時まで時間の経過とともに件数が少なくなっています。

(別図Ⅳ－4参照)

別表Ⅳ－1 119番着信件数の推移

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
平成18年	347	8,847	73	104	1,200	894	197	1,038	12,700
平成19年	222	8,488	71	106	1,063	927	100	1,186	12,163
平成20年	192	8,162	53	107	1,054	877	147	1,225	11,817
平成21年	193	8,126	62	102	1,110	766	139	1,311	11,809
平成22年	159	8,663	54	102	1,206	769	107	1,662	12,722

別表Ⅳ－2 月別119番着信状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
1月	28	717	3	8	113	57	14	63	1,003
2月	7	683	5	4	75	53	6	103	936
3月	11	670	8	10	79	63	10	154	1,005
4月	26	683	7	3	75	58	8	117	977
5月	12	688	1	2	109	72	12	159	1,055
6月	6	658	2	7	76	55	10	202	1,016
7月	12	780	6	10	101	68	6	134	1,117
8月	23	854	9	19	120	87	9	92	1,213
9月	11	693	0	11	89	69	11	114	998
10月	5	702	4	5	106	60	8	168	1,058
11月	10	720	2	9	97	53	5	213	1,109
12月	8	815	7	14	166	74	8	143	1,235
合計	159	8,663	54	102	1,206	769	107	1,662	12,722
月平均	13.2	721.9	4.5	8.5	100.5	64.1	8.9	138.5	1,060

別表Ⅳ－３ 電話種別による１１９番着信件数の推移

	固定電話からの 着信件数	携帯電話からの 着信件数	I P電 話	合 計
平成１８年	９，２５８	３，１３２	３１０	１２，７００
平成１９年	８，４８２	３，１１６	５６５	１２，１６３
平成２０年	７，７１６	３，１７４	９２７	１１，８１７
平成２１年	７，０９１	３，１８１	１，５３７	１１，８０９
平成２２年	６，９６７	３，７０８	２，０４７	１２，７２２

別表Ⅳ－４ 電話種別毎の通報状況

	火災	救急	救助	警戒	問合せ	間違い	悪戯	訓練等	合計
固定電話	５１	４，８７８	１１	３２	４０８	２９５	４１	１，２５１	６，９６７
携帯電話	９０	２，２３４	３９	５５	６４３	３６４	６０	２２３	３，７０８
I P 電話	１８	１，５５１	４	１５	１５５	１１０	６	１８８	２，０４７
総合計	１５９	８，６６３	５４	１０２	１，２０６	７６９	１０７	１，６６２	１２，７２２

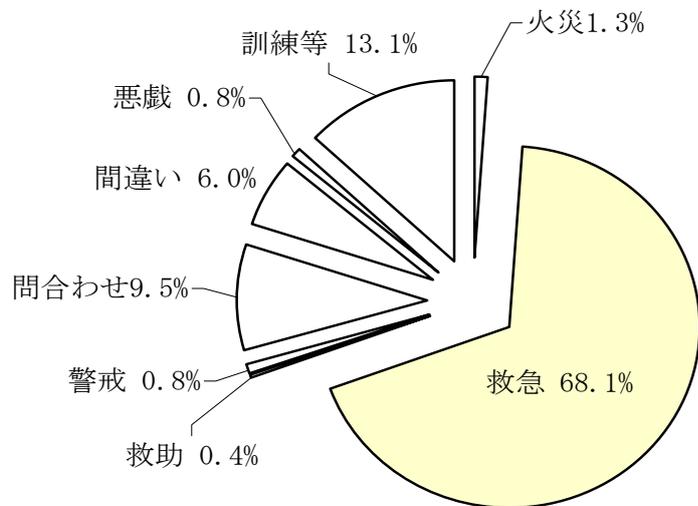
別表Ⅳ－５ 携帯電話からの着信状況

西部消防圏域内の災害などの着信件数			他の消防機関に 転送をした件数
直接通報を 受けた件数	他の消防機関から 転送受信した件数	総着信件数	４１
３，６８８	２０	３，７０８	

別表Ⅳ－6 携帯電話の消防機関別転送状況

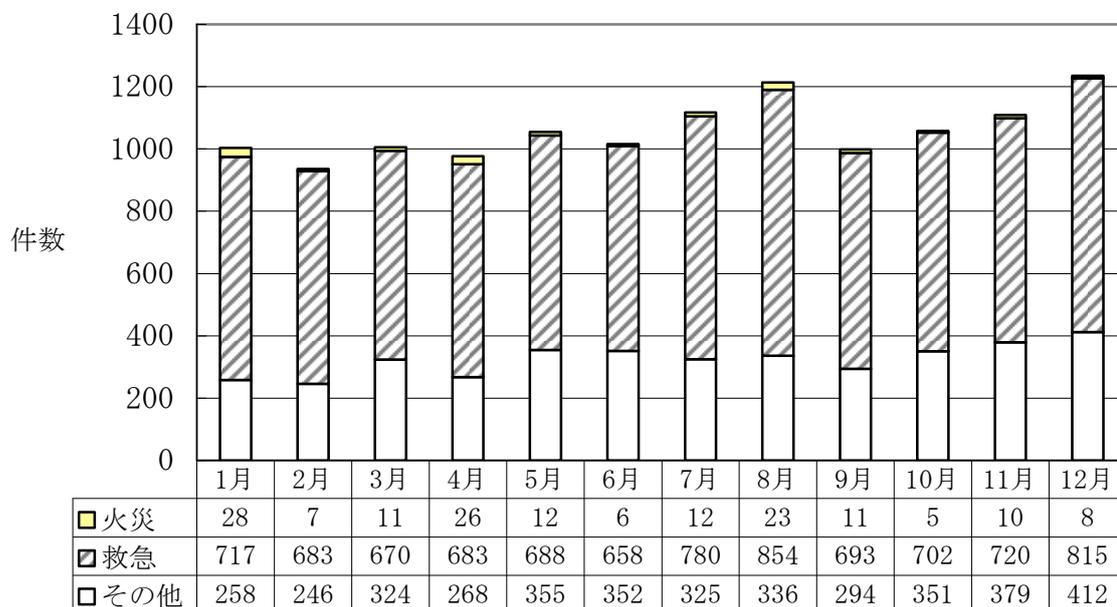
他の消防機関から転送を受信した件数					他の消防機関に転送した件数				
消防	火災	救急	その他	合計	消防	火災	救急	その他	合計
松江		9	1	10	松江	2	24	2	28
安来		3	1	4	安来	2	7	1	10
雲南					雲南				
東部		1	1	2	東部		2		2
中部		1	1	2	中部		1		1
新見		2		2	新見				
真庭					真庭				
津山					津山				
備北					備北				
合計	0	16	4	20	合計	4	34	3	41

別図Ⅳ－1 通報内容別着信状況



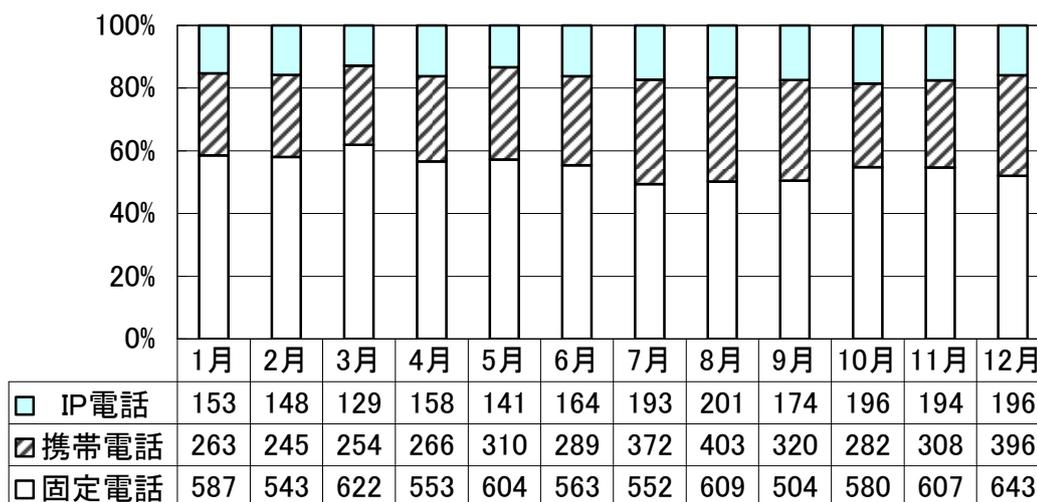
別図Ⅳ－ 2

月別着信状況



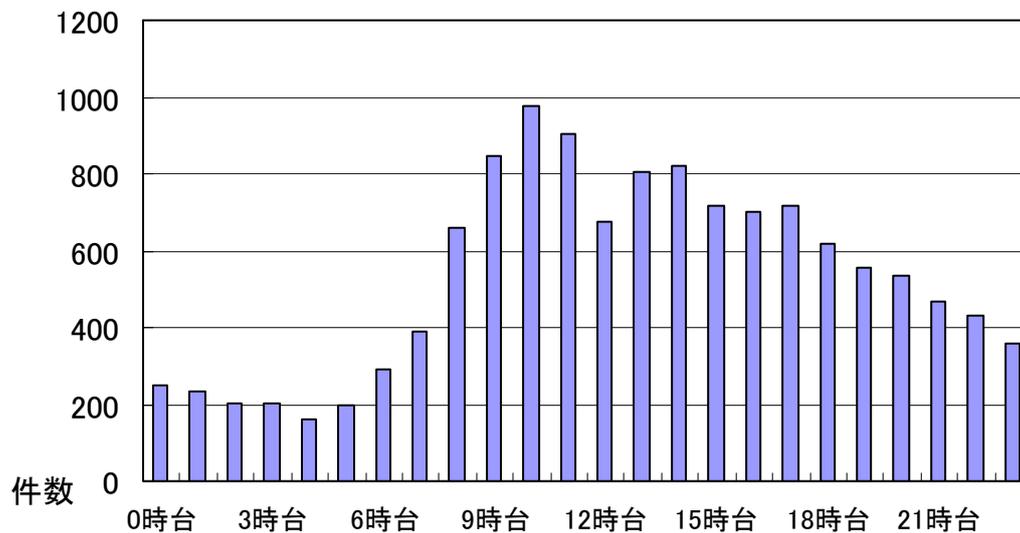
別図Ⅳ－ 3

電話種別毎の着信比率



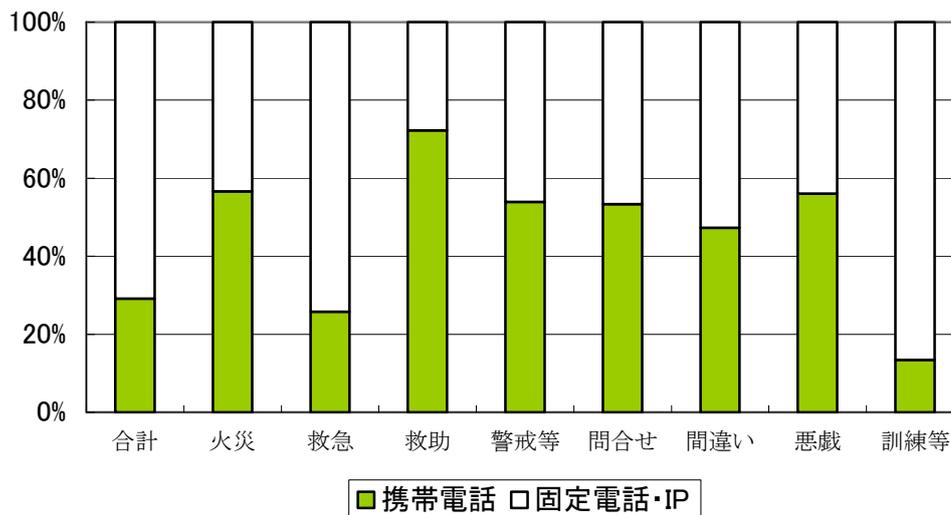
別図Ⅳ－４

時間帯別着信件数の推移



別図Ⅳ－５

電話種別による通報状況



「消したかな」 あなたを守る 合言葉

平成22年度全国統一防火標語

火災情報テレホンガイド 0859-22-0119

防火・救急に関するご相談・お問い合わせ

お気軽に最寄りの消防署・出張所へどうぞ

名 称	所 在 地	郵便番号	電 話 番 号
消 防 局	米子市両三柳5452番地	683-0853	0859-35-1951
米子消防署	米子市富士見町一丁目103番地1	683-0055	0859-39-0251
米子消防署皆生出張所	米子市皆生五丁目8番5号	683-0003	0859-39-0253
米子消防署南部出張所	西伯郡南部町清水川3番地1	683-0321	0859-39-6003
米子消防署伯耆出張所	西伯郡伯耆町溝口20番地4	689-4201	0859-39-9001
境港消防署	境港市中野町2116番地	684-0041	0859-47-0119
境港消防署弓浜出張所	米子市大篠津町2913番地1	683-0101	0859-48-2005
大山消防署	西伯郡大山町末吉403番地2	689-3331	0859-39-5002
大山消防署中山出張所	西伯郡大山町長野880番地3	689-3132	0858-49-3001
江府消防署	日野郡江府町武庫1390番地3	689-4411	0859-77-2001
江府消防署生山出張所	日野郡日南町生山349番地1	689-5211	0859-77-1001

※本概況に関するお問い合わせは下記にお願いします。

火災…………… 予防課予防係	0859-35-1954
救急救助…………… 警防課救急救助係	0859-35-1959
119番着信状況…指令課指令係	0859-35-1960

平成23年2月発行

〒683-0853 米子市両三柳5452番地
鳥取県西部広域行政管理組合消防局
TEL 0859-35-1951(代)